



SHORINJIKEMPO

防衛大学校少林寺拳法部

平成18年度 部誌・OB会報 No. 33

HP アドレス : <http://www.nda.ac.jp/ed/syorinji/>

目 次

部 誌

- 1 部長挨拶
通信工学科 教授 高橋 信明
- 2 学生寄稿
5 2期 主将 上田 桂裕
副将 荒木 敬
5 3期 松本 淳
香川 将太
5 4期 野添 文登
金剛 卓史
- 3 平成19年度部員名簿
- 4 平成18年度活動成果
- 5 各種大会個人成績
- 6 平成19年度年間活動計画
- 7 少林寺拳法部第52期幹部編成

奥平会報

- 1 巻頭言
奥平会会長 14期 中原 勇
新奥平会会長 17期 石渡 幹生
- 2 平成18年奥平会活動概要
- 3 平成19年度奥平会活動予定
- 4 期連絡網について
- 5 連絡事項
- 6 奥平会会員名簿
別紙第1 平成18年度奥平会活動成果報告
別紙第2 平成18年度奥平会総会議事録
別紙第3 平成18年度奥平会決算報告書
別紙第4 平成19年度奥平会活動計画
別紙第5 平成19年度奥平会予算計画
別紙第6 奥平会名誉会員名簿
別 冊 奥平会会員名簿

ご挨拶

部長 高橋 信明

合 掌

防衛大学校少林寺拳法部 OB・OG 諸兄姉におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、現役諸君は前政権を送り、新年度を迎え、決意も新たに日々の稽古に精進していることと思います。

一昨年を引き続き、昨年、平成18年は防衛大学校少林寺拳法部にとって充実した一年になりました。往時には比ぶべくもありませんが、部員数も70名弱であり、防衛大学校校友会の中では、有数の大きさを誇っております。層の厚さを反映し、試合でも喜ばしい結果を残すことができました。5月4日に日本武道館にて開催されました第43回少林寺拳法関東学生大会では、3学年(52期)によります団体演武において前回に続き最優秀賞を獲得したのを始め、男子二段の部で加藤・島原学生(51期)が優良賞を、男子3人掛けの部で阿部・木村・寺田学生(51期)が敢闘賞を、男子単独演武有段の部で木村学生(51期)が敢闘賞を、男子段外の部で濱田・磯畑学生(53期)と増原・宮川学生(53期)がそれぞれ最優秀賞と優良賞を獲得しました。昨秋、11月5日にやはり日本武道館で開催されました第40回少林寺拳法全日本学生大会におきましては、3学年(52期)によります団体演武で一昨年、昨年に続き最優秀賞を獲得し三連覇を成し遂げました。さらに、男子三段以上の部で加藤・島原学生(51期)が優良賞を、男子3人掛け有段の部で木村・寺田・石川学生(51期)が最優秀賞を、男女段外の部で荒川・瀬戸学生(54期)が最優秀賞を獲得しました。お蔭を持ちまして、試合後に美酒を堪能することを得、現役学生を囲み、OB・顧問一同多いに楽しませて頂きました。女子の部及び男女の部を除きますと防衛大学校の存在は大会において極めて大きなものになっております。これらは加藤主将(51期)を中心として一致団結した現役学生諸君の日々の努力に加え、師範や顧問の親身のご指導及びOB・OG諸兄姉を始めとする関係各位の多くの方々のご支援があったればこそと、感謝申し上げる次第です。

昨年11月20日の交代式において51期から52期へと政権が移りました。新年度に入り、現在上田主将を中心とする52期政権は神田・頼富両師範及び三宅監督(41期)の指導の下、51期政権が築き上げた成果を継承し、さらに向上させるべく、多いに張り切っております。また、52期政権は、少林寺拳法に対する理解を深めてもらうべく、希望者に少林寺セミナー(体験練習会)を開くなど、防大少林寺拳法部を包容力があり、深みのある部にしようとして努力しております。本年も、部員一同、さらなる発展を目指し、稽古を積み研鑽を重ねているところでありますので、これからも多くの方々の変わらぬ温かいご支援、ご鞭撻を賜わりたくお願い申し上げます。

最後に、51期16名の諸君に改めて、1年間の政権運営及び4年間の防大少林寺拳法部活動に対し慰労の意を表すると共に、今後の活躍をお祈りしたいと思います。

結 手

52 期新幹部の心構え

52期 主将 上田桂裕

合掌

我々、52 期が防衛大学校少林寺拳法部新幹部として活動しはじめてから半年が経とうとしています。近年みられた部員の増加、それに伴う成績向上と部の活性化。防衛大学校少林寺拳法部は、今まさに変革の時期にさしかかっていると云えます。

私は、数年前には、部員が十数名しかいなかった時もあったということを伺っております。しかし、そのような状況下において当時の幹部の方々は並々ならぬ努力をし、部の良き伝統を守り抜き伝え、自分たちの信念と想いを貫いてきたのだと思います。今の自分たちがあるのも、先輩方の部に対する取り組みがあったからこそのものであると幹部一同認識しております。

さて、我々52 期幹部一同は、「“勝ち”の追及」という目標のもと、部の良き伝統をしつかりと受け継ぐと同時に、「例年」という概念を使うことを禁止してきました。それはまず、物事には必ず「目的や目標」があり、それに応じた「手段やアプローチ」があると考えからです。我々は、「例年」という惰性の概念に流されることなく、常に新しく建設的な発想を心がけて日々の練習に取り組んでいる次第です。

そして、幹部一同「部員は部の宝」という気持ちを忘れることなく、謙虚な姿勢をもち、さらに権威や強制力ではなく自分たちの持つ魅力で、後輩を引っ張り、感動を伝え、共に成長していこうと考えております。

防衛大学校の「最後の砦」である我が少林寺拳法部の更なる発展を目指し、今後の幹部生活を全うしていこうと思う所存です。

最後になりますが、部長師範、監督、副監督、顧問、OB、その他関係者の方々、これからも、ご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

結手

葛藤と仲間

52期 副将 荒木 敬

合掌

何故自分は少林寺拳法をしているのだろう。今でもそのようなことを考えることがあります。限りある人生の中で私は奇跡的に少林寺拳法に出遭いました。そして今、私は防衛大学校少林寺拳法部の52期副将として、仲間に支えられながら自己研鑽と後輩の指導の日々を過ごしています。

後輩には漫然と少林寺拳法に対峙して欲しくありません。そして自分の人生に対しても、どうしたら後輩がもっと楽しく、自発的に少林寺拳法の練習をすることが出来るだろうか。悩みます。そしてときに、冒頭の疑問にぶつかるのです。

では自分はどうなのだと。

これまで私が約3年間過ごして来た防大少林寺拳法部の道程に想いを馳せるとき、そこに一つの答えが見えるような気がします。そして今現在もともに頑張っている主将をはじめとする同期の姿がそれを確信させてくれるのです。

防衛大学校の少林寺拳法部は「信じること」、自分を、同期を、先輩を、後輩を信じることの大切さを教えてくれる素晴らしい伝統があります。私達はその伝統を守りたいと考えています。上田主将を中心とする私達52期の幹部としての戦いはスタートしたばかりでありますが日々精進を重ねて、部員一同これからも頑張っていく予定です。

最後になりますが今後も部長、師範、監督、顧問、OBの方々、あたたかいご支援・ご指導をお願いいたします。

結手

責任と自覚

53期 松本 淳

合掌

この4月を向かえ、私はついに3学年となった。今まで2年間の校友会活動で私達は数多くの技と教えを学び、その都度同期の皆と切磋琢磨してきた。一学年の時を思い返すと、上級生の方々の背中をただがむしゃらに置いていかれないように着いて行くだけだった。2学年の時を思い返すと、54期という防衛大での初めての後輩に情けない姿を見せたくない一心でやはり、ただがむしゃらに走ってきた。そして今、3学年となりとなった私達には準幹部としてのあり方が求められるようになっていく。新1学年を迎えることで後輩の数も増え、自分達の背負うべき責任の重さも増してくるし、団体演武における連覇をかけてのプレッシャーも日に日に増してくる。そんな中で自分達には何が出来るだろうか、自分に課せられた責任とは何だろうかということを常に私達は考えていかなければならない。

これらの責任は一言で表せるものではないと思うし、また人から教わっただけで理解できるものでもないと思う。だから私は常に先を見据え、常に考えながらこの一年間を過ごそうと思う。私はこの少林寺拳法部が好きで、その少林寺拳法部をより良い部にしていきたいと思うから。

結手

心の成長

53期 香川 将太

合掌

私が防大少林寺拳法部に入部して三年もの月日がたった。楽しかったこと、辛かったこと等様々なことがあった。その中でも“辛い時にこそ笑う”ということを経験できて良かったと思っている。辛いとき、人はどのように人に接するのか？誰もが辛いときに自分のことしか考えないような人間にはなりたくない。一年生の時にはこんなことは考えたことも無かったが、後輩ができ、上級生の立場になった今、自分の身のありようを考えるようになった。後輩の前で情けない姿は見せたくない、二年生になったばかりのときはそう思っていた。三年生になり、後輩が自分の姿を見てがんばれるように努力しようと思えるようになった。防大少林寺拳法部で過ごした三年間は肉体的な面よりも精神的な面での成長が大きかった。辛いときにこそ笑うことで、心に余裕を持ち、人のことをも考えられる。今の自分に満足することなく、日々新たにがんばっていこうと思う。

結手

少林寺拳法との出会い

54期 野添 文登

合掌

少林寺拳法と出会って早くも一年が過ぎた。なにも知らずに始めたがみるみるうちに少林寺拳法の魅力にとりつかれていった。まず驚いたのが練習はじめにみんなで一斉に行う鎮魂行である。一つ一つの言葉に意味があり、練習を始める前に気持ちを落ち着かせる効果もある。また、技一つに関しても体系的でとても合理的で基本の技が本当に応用技に繋がったりなど、うまくできていると日々感じている。

また、私の部の特徴としては仲間をととても意識しており、楽しいことや辛いことを共に乗り切って互いに信頼し切磋琢磨している。まだ始めて一年足らずだがもうすぐ大会や昇段試験もあるので一歩ずつ目標に向かい前進してがんばっていきたい。

結手

これからの目標

54期 金剛 卓史

合掌

なんとなく始めた少林寺拳法だが今まで続けている。

何度かやめようと思ったこともあるが、そんな弱気になったときに支えてくれたのは同じ学年の仲間や上級生の方々だった。まだまだ魅力が何なのかわかりかねているところもあるが、運用法などで技がきれいに決まってポイントをとったときなどは快感でとても楽しいと感じる。また、どうしても日本一になりたいので、辛いことや苦しいこともみんなと乗り越えて最高の笑顔で団演をやり遂げることが大きな目標である。そのためにも今後日々精進していききたい。

結手

平成 1 9 年度部員名簿

(平成 1 9 年 4 月 1 日現在)

期別	小隊	教務班	要員	フリガナ 氏名	役職等
5 1	422	応物(4)	海	ナカガワ セイスケ 中川 成輔	
5 2	112	情報(9)	空	ムネオ ヒデノリ 棟尾 英典	ホームページ
	212	電気電子(7)	海	オウギ ナオト 扇 直人	庶務(OB・師範)
	221	電気電子(7)	陸	フジヒラ アキノリ 藤平 明德	主務
	221	電気電子(7)	陸	マツエダ ヒロシ 松枝 洋志	体力
	221	情報(9)	陸	ワキタ ユウイチロウ 脇田 祐一朗	庶務(OB・師範)
	231	電気電子(7)	海	ワタナベ ケンタ 渡邊 健太	渉外
	241	情報(9)	陸	タカウラ フミヤス 高浦 二三康	道場長
	311	通信(8)	空	オオタ カズヒロ 太田 一宏	渉外
	322	人文(1)	海	ウエダ ケイスケ 上田 桂裕	主将
	332	通信(8)	陸	コバヤシ ヒロノリ 小林 弘典	
	342	公共(2)	陸	サコタ ヤスアキ 迫田 泰明	会計
	411	航宇(13)	空	アラキ ケイ 荒木 敬	副将
	412	地球科(6)	海	イトウ クニアキ 伊藤 邦晃	統制長
432	応物(4)	陸	ヨシタケ ナオヒロ 吉武 直洋	安全	

	441	応物(4)	陸	オオハタ 大畑	ナリヒラ 成平	
53	132	人文(1)	海	ヨシミツ 吉満	ショウタ 将太	
	141	電気電子(7)	陸	タカノ 高野	シュンスケ 峻介	
	142	人文(1)	陸	イシマル 石丸	ジュン 純	
	142	電気電子(7)	空	オオコウチ 大河内	タイチ 太一	
	222	機械(11)	海	クロスミ 黒住	ユウト 悠人	
	231	機械(11)	陸	コダマ 児玉	アキラ 明	
	233	共通(13)	共通	トミタ 富田	ダイスケ 大助	
	311	機材(10)	空	ミヤガワ 宮川	シンイチ 真一	
	311	機材(10)	空	ミヤタ 宮田	ケンイチロウ 憲一郎	
	321	応化(5)	陸	マツモト 松本	ジュン 淳	
	332	通信(8)	海	カガワ 香川	ショウタ 将太	
	342	応化(5)	陸	タクシマ 宅島	ヒロユキ 宏幸	
	411	土木(14)	陸	イソバタ 磯畑	リョウタ 良太	
	411	土木(14)	海	マツモト 松本	コウイチ 光一	
	422	航宇(13)	海	マハラ 増原	タツヒコ 達彦	
431	公共(2)	空	サザナミ 漣	ヒロシ 博司		
433	共通(6)	共通	フジサキ 藤崎	シュウタロウ 脩太郎		

	441	航宇(13)	空	ハマダ タク 濱田 卓	
5 4	113	共通	共通	ムラタ シュンイチロウ 村田 瞬 一郎	
	133	共通	共通	アリウラ ユキマサ 有浦 礼将	
	133	共通	共通	コ フネ ノリツグ 小 船 乗継	
	213	共通	共通	ハマノ マサシ 濱野 雅史	
	233	共通	共通	セト ヨウスケ 瀬戸 陽介	
	243	共通	共通	サカグチ タカユキ 坂口 雄幸	
	323	共通	共通	オカダ トモヒト 岡田 知仁	
	323	共通	共通	コンゴウ タクシ 金剛 卓史	
	323	共通	共通	ノゾエ フミト 野添 文登	
	433	共通	共通	アラカフ サ エ 荒川 紗恵 W	
	433	共通	共通	イケダ ワタル 池田 渉	
	433	共通	共通	イサ ノブアキ 伊佐 信晃	
	433	共通	共通	ムラカフ リョウスケ 村川 亮 祐	
433	共通	共通	ヤシマ マサル 八島 勝		

平成 1 8 年度活動成果

日 時	行 事	場 所	成 績
5 月 4 日	第 43 回関東学生大会	日本武道館	団体演武：最優秀 男子二段：優良 男子衆敵：敢闘 男子段外：最優秀 優良
5 月 27 日	新入生歓迎行事	御殿場	男子単独：敢闘 男子段外：優秀 優良 男子単独：最優秀 優良
6 月 4 日	横須賀三浦大会	県立福祉大学	
6 月 17 日	昇級審査	防衛大	
6 月 18 日	合同練習(慶應・早稲田)	防衛大	
6 月 25 日	昇段審査	藤沢翔陵高校	
7 月 30～ 8 月 2 日、	夏合宿	校内	
8 月 9～ 12 日	本山合宿 (52 期)	香川県多度津町	
11 月 5 日	第 40 回全日本学生大会	日本武道館	団体演武：最優秀 男子三段以上：優良 男子衆敵：最優秀 男女段外：最優秀 日本武道館賞
1 月 23 日 ～3 月 1 日	少林寺拳法セミナー	校内	4 学年を対象に。
1 月 27 日	全自衛隊大会	宮崎県新田原基地	三段以上：最優秀 初二段：最優秀 有段単独：最優秀 段外単独：最優秀

2月3日	OB杯(納会)		
3月10日	合同練習(早稲田・東海)	防衛大	
3月12日	甲野講師による講習会	防衛大	
3月24日 ~28日	春合宿	校内	

各大会個人成績

関東学生連盟大会(平成 18 年 5 月 4 日 : 日本武道館)

団体演武の部	最優秀	5 2 期	上田桂裕	渡邊健太	小林弘典
			高浦二三康	伊藤邦彦	松枝洋志
			大畑成平	迫田泰明	扇直人
			藤平明德	荒木敬	脇田祐一郎
男子二段の部	優良	5 1 期	加藤僚	島原佑太	
男子 3 人掛けの部	敢闘	5 1 期	阿部哲也	木村和史	寺田浩昌
単演有段の部	敢闘	5 1 期	木村和史		
男子単独演武の部	敢闘	5 0 期	木村和史		
男子段外の部	最優秀	5 3 期	濱田卓	磯畑良太	
	優良	5 3 期	増原達彦	宮川真一	

横須賀三浦ブロック大会 (平成 18 年 6 月 4 日 : 県立福祉大学)

男子有段単独の部	最優秀	5 2 期	高浦二三康		
	優良	5 3 期	松本淳		
男子段外の部	優秀	5 3 期	黒住悠人	大河内太一	
	優良	5 3 期	吉満将太	高野峻介	

全日本学生大会 (平成 18 年 11 月 5 日 : 日本武道館)

団体演武の部	最優秀	5 2 期	大畑成平	渡邊健太	迫田泰明
			扇直人	棟尾英典	吉武直洋
			高浦二三康	脇田祐一郎	荒木敬
			小林弘典	松枝洋志	伊藤邦晃
男子三段以上の部	優良	5 1 期	加藤僚	島原佑太	
男子 3 人掛けの部	最優秀	5 1 期	木村和史	寺田浩昌	石川貴之
男女段外の部	最優秀	5 4 期	荒川紗恵	瀬戸陽介	
日本武道館賞					

全自衛隊大会 (平成 18 年 1 月 2 7 日 : 新田原基地)

三段以上の部	最優秀	5 2 期	上田桂裕	太田一宏
初二段の部	最優秀	5 3 期	宮川真一	増原達彦
有段単独の部	最優秀	5 2 期	高浦二三康	
段外単独の部	最優秀	5 1 期	上遠野珠希	

平成 1 9 年度年間活動計画

期 間	行 事	場 所	備 考
4 月中	全力勧誘期間		目標：30名以上(40名)
5月4日	関東学生大会	武道館	団体演武最優秀 男子三段以上、二段最優秀
5月下旬	新入生歓迎行事	校外	
5月中	慶応・早稲田大学との 合同稽古	防衛大学校	2・3・4年がそれぞれ受 験
6月上旬	横須賀市民大会	校外	
6月中旬	昇段審査	校外	
8月中旬	本山合宿	香川県多度津	3学年及び希望者参加
8月下旬	夏合宿	未定	熱海を検討
10月7日	全日本学生大会	武道館	目標：団体演武最優秀 三段以上・2段・3人掛け 最優秀 最優秀大学
11月4日	60周年全国大会	武道館	
11月10日	開校祭	防衛大学校	演武の披露
時期未定	全自衛隊大会	未定	
11月中	政権交代	防衛大学校	
1月中	寒稽古	防衛大学校	
2月上旬	OB杯演武大会・納会 OB総会	防衛大学校	
3月下旬	春合宿	防衛大学校	

*尚、各月一回を基準に師範日を予定

少林寺拳法部第52期幹部編成

役 職	氏 名	所 属	要員・専攻
主 将	上田 桂裕	3 2 2	海上・人文
副 将	荒木 敬	4 1 1	航空・航宇
統制長	伊藤 邦晃	4 1 2	海上・地球
道場長	高浦 二三康	2 4 1	陸上・情報
主 務	藤平 明德	2 2 1	陸上・電気
会 計	迫田 泰明	3 4 2	陸上・公共
安 全	吉武 直洋	4 3 2	陸上・応物
3年係	伊藤 邦晃	4 1 2	海上・地球
3年係補佐	扇 直人	2 1 2	海上・電気
3年係補佐	脇田 祐一朗	2 2 1	陸上・情報
3年係補佐	渡邊 健太	2 3 1	海上・電気
2年係	大畑 成平	4 4 1	陸上・応物
2年係補佐	松枝 洋志	2 2 1	陸上・電気
2年係補佐	迫田 泰明	3 4 2	陸上・公共
2年係補佐	棟尾 英典	1 1 2	航空・情報
1年係	小林 弘典	3 3 2	陸上・通信
1年係補佐	高浦 二三康	2 4 1	陸上・情報
1年係補佐	吉武 直洋	4 3 2	陸上・応物
1年係補佐	太田 一宏	3 1 1	航空・通信
庶務	脇田 祐一朗	2 2 1	陸上・情報
	扇 直人	2 1 2	海上・電気
本山	松枝 洋志	2 2 1	陸上・電気
涉外・学連	渡邊 健太	2 3 1	海上・電気

奧平會報

巻 頭 言

前奥平会会長 中原 勇

合 掌

奥平会会員の皆様におかれましては、益々ご壮健にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度の「防衛庁」から「防衛省」への昇格、大変おめでとう御座います。平成2年頃、自衛官の定年後の処遇改善施策の一環として「若年定年退職者給付金」制度の樹立に向け、内局厚生課に勤務していた折り、給付金制度成立後の庁をあげての大仕事は「省昇格」になるものと思料していたことを懐かしく思い出しております。

又、ここ数年間に、長年タブー視されてきた「有事法制」が整備されるとともに、国際貢献任務も本来任務に位置付けされるなど、自衛隊に対する国民の信頼と期待の大きさを肌で感じている昨今です。会員の皆様も同じ思いではないでしょうか。

ところで、防大少林寺拳法部の方は、今年度の新入部員も17名を確保し、全国学生大会では団体演武最優秀3連覇を達成する等新たな伝統をたくましく構築していることに対して、大いに頼もしさを感じている次第です。

話は変わりますが、私、この度、奥平会の会長を下番させていただく事となりました。平成14年から約5年間会長を務めさせて頂きましたが、関西補給処長を最後に陸上自衛隊を退職してからは、生まれ故郷の種子島の方に帰省しました関係上、総会への出席や各種大会への応援等に出かけることが大変難しくなってしまいました。桧町勤務者の中から適任者を会長に選出していた頃、会長上番者が若くなり過ぎてしまうため対策案を検討し、桧町勤務者に限定せず会長を選出し、つとめて長期間上番して貰うことをねらいにして2度目の会長に上番させて頂きましたが、このような諸般の事情から17期生の石渡君にバトンタッチをさせて貰うこととなりました。ご了承頂きたいと思います。

最後になりましたが、奥平会会長を下番するにあたり、上番間、皆様方から暖かいご支援ご協力を賜りました事に心から感謝と御礼を申し上げます。

会員並びにご家族皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げて、ご挨拶とさせて頂きます。

結 手

新会長挨拶

新奥平会会長 石渡 幹生

合 掌

奥平会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、5年の長きに亘り奥平会の運営と発展に多大の貢献をされました中原会長の後を引き継いで、19年度より奥平会の会長を務めることになりました。前会長には、あらためてその功績と指導力に感謝申し上げ、会員の皆様には、引き続きご協力を賜りますようお願いする次第です。

さて、現役の学生の活動に関しましては、一時低迷しておりました関東学生及び全日本学生選手権において見事な復活を遂げると共に、部員数につきましても必死の勧誘もあって増加傾向となり、誠に頼もしい限りであります。学生大会においては、「やはり防衛大学校が頑張って、引っ張ってくれないとダメだ。」とは、私ども年代の他大学の同級生が言ってくれる嬉しい言葉です。

また、先般1月下旬に行われました全自衛隊少林寺拳法大会における学生の参加と、その見事な演武は、鍛錬修行を続ける自衛官に良い目標を与えてくれています。

武道は、単なるスポーツでなく、そこには確立された精神修養としての道があります。精神と肉体がともに健全であることが最も大切なことでもあります。昨今の我が国の家庭や学校教育の諸問題を見ると、その根底にあるものは、礼によって始まり、礼によって終わる武道の精神が失われていることだと思えます。近頃マスコミに姿を見せるプロの選手たちのひげ面、茶髪、長髪、ブランドグッズ、ラフすぎる服装、品にかける言動などを見聞するとき、子供の憧れで、夢を与える人たちには「相応のモラルやマナーが求められるぞ」と言いたくなります。

これからの奥平会の融和団結と、会の運営、並びに現役部員達への支援について解決すべき事項もあることと思えます。会員の皆様におかれましても、引き続き関心をお寄せいただき、さらなる奥平会の発展に向けてご協力の程お願い申し上げます。

最後に、会員並びにご家族皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

結 手

平成18年度奥平会活動概要

1 現役部員に対する支援

日常における学生に対する指導をおこなうとともに、夏季合宿、関東・全日本学生大会等への支援を実施致しました。細部は別紙第1「平成18年度奥平会活動成果報告」のとおりです。特に顧問の少ない中、事故もなく各種行事を乗り切れましたのも、OB・OGの方々のご多忙中にもかかわらず、大会等の応援に駆けつけてくださったお陰と感謝いたしております。来年度につきましてもできる限り大会等の予定を御連絡いたしますので、応援・ご支援のほどよろしく申し上げます。

2 総会の実施

平成19年2月3日、防大において学生による「OB杯演武・乱捕り大会」に併せて平成18年度奥平会総会を開催しました。総会には20余名の会員に参集をしていただきました。

総会では、活動報告及び会計報告を行ったほか、今後の奥平会活動等について発議し、熱心に討議が行なわれました。細部討議内容につきましては別紙第2をご参照ください。

出席いただいた会員の方々、誠にありがとうございました。

3 平成18年度会計報告

別紙第3「平成18年度奥平会決算報告書」をご参照ください。

平成19年度奥平会活動予定

1 平成19年度奥平会活動内容

別紙第4「平成19年度奥平会活動計画」をご参照ください。

2 平成19年度奥平会予算

別紙第5「平成19年度奥平会予算計画」をご参照ください。

3 平成19年度奥平会本部

役 職	期 別	氏 名	連 絡 先
会長	17F	石渡 幹生	幹部候補生学校長 8-566-200
副会長（市ヶ谷等）	17A	鈴木 陽	
副会長兼総括幹事 兼庶務・広報	41F	三宅 英明	防衛大学校 8-40-2621
会計監査委員	29A	新保 博徳	防衛大学校 8-40-3841
会計	35N	中原 俊行	防衛大学校 8-40-2733

期連絡網について

1 主旨

奥平会の有効活用と活性化を図るとともに、会員の名簿を効率的に整理する。

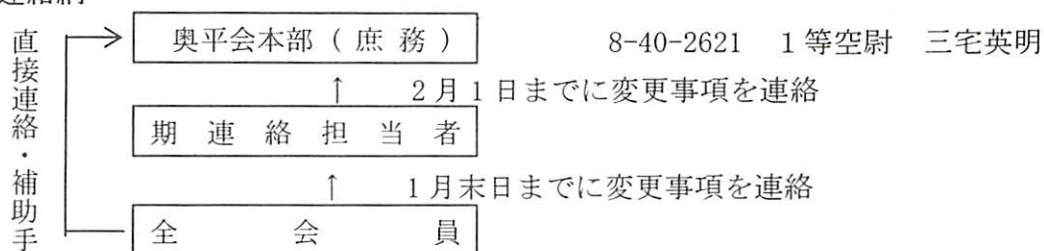
2 連絡の要領

- (1) 各期に1名、連絡担当者をおく。
- (2) 住所・所属等が変更になった場合、各人は毎年1月末日までに同期生の連絡担当者へ連絡し、変更事項を告げる（直接防衛大学校庶務に連絡することも可能）。
- (3) 連絡担当者は、年度の変更事項をまとめて毎年2月1日までに奥平会本部（防大庶務）に連絡する。
- (4) その他、会員の慶弔に関する事項については、各人ごと直接又は連絡担当者を通じて奥平会本部に連絡するものとする。

3 連絡担当者の指名

3年を任期とし、次の担当者を期毎指名し、申し送るものとする（再任を妨げない）。

4 期連絡網



5 期連絡担当者（19.4.1現在）

10	調整中		24	24F	中館 利光	岐阜	38	38A	奇藤 浩	板妻
11A	勝野 建朗	退職	25	25N	内山 哲也	目黒	39	39A	中村公多朗	目黒
12A	衛藤 利治	退職	26	26F	池島 暢也	三沢	40	40A	上野 洋介	目黒
13A	高本 俊之	退職	27	27F	堀田 隆治	市ヶ谷	41	41A	後藤 仁志	目黒
14A	清水 重周	退職	28	28A	湯浅 悟郎	市ヶ谷	42	42A	古賀 信之	目黒
15A	上杉 和壽	退職	29	29A	甲斐 正人	目黒	43	43A	廣瀬 繁	市ヶ谷
16A	富本 啓一	明野	30	30A	福田 洋司	十条	44	44A	渡邊 俊明	川内
17A	中尾 吉孝	退職	31	31N	迫田 浩文	呉	45	45A	八木 新	旭川
18F	笠原 久	目黒	32	32A	福重 毅尚	健軍	46	46A	菊池 裕紀	那覇
19A	屋久 俊郎	習志野	33	33N	町島 敏幸	岩国	47	47A	矢野 健一	弘前
20A	小林 実	朝霞	34	34A	竹内 博忠	富士	48	48A	対比地貴之	松本
21A	湖崎 隆	勝田	35	35A	戒田 重雄	市ヶ谷	49	49N	房野 賢一	佐世保
22A	村松 利宏	市ヶ谷	36	36A	藤岡 忠生	市ヶ谷	50	50N	鳥居 悠希	呉
23A	日高 政広	札幌	37	37N	高取 哲郎	市ヶ谷	51	51A	加藤 僚	久留米

連 絡 事 項

1 会員名簿の更新について

会員名簿につきまして所属等不明者は、空欄にしております。本人もしくはその所属等を知っておられる方、また記載内容の間違い等にお気付きの点がございましたら期連絡担当者又は防大本部庶務まで御連絡ください。なお、期担当連絡者から連絡がなかった期につきましては、昨年度のデータを基に作成しております。

2 期連絡網について

期連絡網について上記のように設置していますので、会員の皆様におかれまして住所の変更等がありましたら期連絡担当者まで御連絡下さい。

尚、期連絡担当者様の所属が変更になっている場合、部誌が届いていない恐れがあります。その際は、お手数ですが、同期の方またはお近くの方から期連絡担当者様に本部へご連絡いただけるようお願い申し上げます。

3 本部連絡先

防衛大学校訓練課第 211 小隊指導教官 1 等空尉 三宅 英明
専用線 8-40-2621
局 線 046-841-3810 (内 2621)
e-mail jhmiyake@ad.nda.ac.jp

4 ご逝去のお知らせ

去る平成 18 年 11 月 16 日に少林寺拳法部師範として大変お世話になりました、三崎先生がお亡くなりになりました。また、本年 2 月 19 日には初代部長であり本会名誉会員でもいらっしゃいました丸川先生がお亡くなりになりました。

部員一同ご冥福をお祈りいたしますと共に、奥平会からは弔電と花輪、または生花を送らせていただきました。

5 その他

(1) 会員の慶弔がありましたら、期連絡担当者若しくは本部庶務まで、ご本人若しくは近傍の会員の方からご一報いただきますようお願いいたします。

(2) インターネットの防大ホームページ (<http://www.nda.ac.jp/index-j.html>) に少林寺拳法部のホームページを開設いたしております。40 周年記念祝賀会、活動状況、成績、知りうる範囲で会員様の慶弔等も逐次掲載しておりますので是非ご覧ください。

奥平会員名簿

1 奥平会名誉会員名簿

別紙第 6 「奥平会名誉会員名簿」をご覧ください。

2 奥平会員名簿

別冊「奥平会員名簿」をご覧ください。

平成 18 年度奥平会活動成果報告

1 少林寺拳法部活動支援

- (1) 各種活動に対し、金銭的支援及び防大所属会員等による人的支援を実施した。
- (2) 夏合宿、関東学生大会、全日本大会には近隣の会員からの激励、金銭的支援を受けた。
- (3) OB 交流等を通じて、昨年度に引き続き合同練習対象校を拡大した。

2 横須賀・三浦ブロック活動参加
月例会議参加（三宅）

3 校内活動

- (1) 少林寺拳法部顧問会議
- (2) 政権・OB 合同会議（必要の都度）
- (3) ホームページの作成及び運営指導

平成18年度奥平会総会議事録

1 学生に対する指導について

- (1) 関東学生OB連合会及び少林寺拳法連盟横須賀・三浦ブロック主催の合同練習等に積極的に参加するよう指導する。
- (2) 大会等を通じて懇意になった大学との合同練習を積極的に実施する。

2 部旗作成用として計上した予算の代用について

(1) 提 議

今年度の支出は、菅野元部長退官記念に伴う支出がありましたが、菅野元部長から部旗代をご厚志いただき、当初部旗購入支援として15万円計上していた予算の執行の必要性がなくなりました。

つきましては、18年度部旗購入支援金として計上した15万円の効果的な使用目的について検討する必要が出て参りました。

(2) 結 論

練習マットやビデオカメラ、防具の購入等が議論されましたが、防具が最も妥当であろうという結論に至りました。しかしながら、現状の物がまだ使用可能であり、数量的にも十分であることから、現時点での支出の必要性は無く、今後必要となるまで奥平会で預かるという形をとることになり、部員の増加、防具の老朽化等で必要になった際は、予算を執行し、総会の承認を得ることになりました。

平成18年度奥平会決算報告書

(1) 18年度収支について

収 入		支 出	
前年度繰越金	¥1,729,964	各種大会支援	¥180,000
OB会費(50期9名)	¥483,300	合宿支援	¥15,000
臨時会費	¥160,000	学生活動支援	¥60,000
利息	¥3,071	技術向上支援	¥200,000
防具代	¥100,000	菅野元部長への記念品	¥157,000
合計	¥2,476,335	部誌発行関連	¥128,165
		関東OB連合会関連	¥37,000
		三浦ブロック関連	¥36,000
		OB杯メダル代等	¥29,600
		弔電・花輪代	¥13,528
		合計	¥856,293
残高(収入-支出)			¥1,620,042

(2) 菅野元部長の退官に伴う臨時会費について

退官される菅野元部長に対し、これまでの少林寺拳法部への御尽力に感謝の意を表するため、現部長、顧問及び34期から48期までの奥平会員から臨時会費(16万円)を徴収させていただきました。多数のご賛同ありがとうございました。

(3) 会計監査報告書

付紙のとおり。

平成18年度奥平会決算報告書（平成18年1月1日～同年12月31日）

1. 収支報告

収入	
前年度繰越金	1,729,964
小計	1,729,964
50期OB会費	483,300
OB臨時会費	160,000
利息	3,071
その他(防具代)	100,000
小計	746,371
総計	2,476,335

支出	
大会支援金	
関東学生大会	50,000
全自衛隊大会	50,000
全日本学生大会	80,000
小計	180,000
学生支援金	
春合宿支援金	5,000
夏合宿支援金	10,000
新入生獲得支援金	60,000
部旗	0
小計	75,000
技術向上支援金(師範代)	200,000
奥平会運営費	
関東OB連合会関連	37,000
三浦ブロック関連	36,000
部誌発行関連	128,165
OB杯・慶事等	200,128
小計	401,293
総計	856,293

年度内差引額 ¥-109,922 円

2. 残高報告

¥1,620,042 円

上記内容に異状ありません。

平成18年度奥平会会計係

井上裕 築上

3. 会計監査

厳正な監査の結果、会則に基づき適正に運営されていることを報告します。

会計監査委員

新保博徳 保徳

平成 19 年度奥平会活動計画

1 活動内容

(1) 部活動支援

金銭的・人的支援を継続して実施する。

(2) 横須賀・三浦ブロック活動参加

近隣支部との合同練習に積極的に参加する。

(3) 関東学生OB連合会活動参加

懇親会を通じて交流のできた大学との合同練習機会を拡大する。

(4) 校内活動

OBの部活動・練習参加に加え、OB自身の技術向上を図り、積極的に指導を実施する。

2 部の活動予定

部誌中「平成 19 年度年間活動計画」参照

3 活動に当たっての重点事項

(1) 新入部員獲得に重点的な支援を行う。(金銭支援、勧誘活動支援)

(2) 他駐屯地・基地からのOB支援・激励を積極的に得る。

(3) 防大勤務OBの増加を要望する。

(4) 期連絡網については、メールの活用を含め、連絡体制の効率化・迅速化を図る。

平成19年度奥平会予算計画

1 収入について

12年度以来、OB・OGの皆様の暖かいご援助により約2ヵ年分の活動費（約140万円）を確保することができるようになり、今年度は特別会費の徴収を見合わせた予算とすることが出来ました。現在の部員数は4学年16名、3学年16名、2学年17名、1学年14名となっており、19年度には終身OB会費による運営が可能となります。今後は本来の姿である終身OB会費による運営が可能と考えております。

2 支出について

19年度は、大きな事業は予定されていませんので、会誌印刷の外注化継続経費を含め、恒常的な支出は今年度並となります。

3 19年度予算計画について

収入		支出	
前年度繰越金	¥1,620,042	各種大会支援	¥180,000
OB会費(51期16名)	¥859,200	合宿支援	¥15,000
特別会費	¥0	学生活動支援	¥60,000
利息	¥8,000	技術向上支援	¥200,000
防具代	¥100,000	奥平会運営費	¥290,000
合計	¥2,587,242	合計	¥745,000
残高(収入-支出)			¥1,842,242

4 来年度以降の見通し

奥平会の運営経費は年間約70万円を必要としております。既にご承知の通り、収入は当該年度の卒業生の終身OB会費(5.3万円/人)によって賄われております。今後は恒常的に14名以上の卒業生が見込まれており、終身OB会費による運営が可能です。

なお、菅野部長からいただきましたご厚志(部旗代)につきましては、部旗の作成要領が本山から示され次第、使用させていただく予定であり、進行状況については総会において毎年ご報告させていただきます。

奥平会名誉会員名簿

(19. 4. 1 現在)

職 名	氏 名	現所属及び役職	連 絡 先
新部長	高橋 信明	通信工学科 教 授	〒236-0045 横浜市金沢区釜利谷南 3-16-16 TEL 045-784-2339
師 範	神田 憲和	三多摩副道院 長 准範士 6 段	〒164-0003 中野区東中野 2-14-7 TEL 03-3363-6275
師 範	頼 富 英 武	少年工科学校 顧問 准範士 6 段	〒238-0315 横須賀市林 5-6-11 TEL 0468-56-7663
顧 問	有 賀 敦	機能材料工学 科 講 師	〒239-0814 横須賀市二葉 1-55 A-202 TEL 0468-44-0264
元部長	菅 野 等		〒236-0042 横浜市金沢区釜利谷東 6 丁目 34 番 1-411 TEL 045-786-5877
元顧問 (OB 以外)	奥 平 正 人 (奥平会名誉会長)		〒828-0044 豊前市小石原 392-3 TEL 0979-82-2287

別冊

奥平会員名簿

(平成 19 年 3 月 1 日現在)

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等	主持・副将・期連絡員
10	A	黒野 耐	退職	〒3300061埼玉県さいたま市浦和区	
10	A	三井 光夫	退職	〒1870022東京都小平市上水本町	
10	A	松島 順一	退職	〒3510115埼玉県和光市新倉	
10	A	清水 高男	退職	〒2630031千葉県千葉市稲毛東	
10	A	蔵田 弘明	退職	〒3440077埼玉県春日部市小洲	
10	F	出田 弘二	退職	〒8891403宮崎県児湯郡新富町上富田中の丸	
10	F	鈴木 勝人	御逝去		
10	N	岡崎 昭一	退職	〒2150023川崎市麻生区片平	
11	A	坂元 正昭	退職	〒2710044松戸市西馬橋	
11	A	勝野 建郎	退職	〒6640004兵庫県伊丹市東野	11期連絡員
11	A	須ヶ崎 了英	退職	〒8200712福岡県嘉穂郡筑穂町大分	
11	A	水野 照夫	退職	〒3470016埼玉県加須市花崎北	
11	A	田谷 俊之	退職	〒0650032札幌市東区北32条東	
11	A	廣岡 征夫	退職	〒1400013東京都品川区南大井	
11	F	上田 勇作	退職	〒8900032鹿児島市西陵	
11	F	清水 正睦	退職	〒3591132所沢市松ヶ丘	
11	F	藤田 尚	退職	〒1860026東京都府中市南町	
11	N	佐藤 正秀	退職	〒8930064鹿児島県鹿屋市西原	
11	N	渡辺 貞吉	退職	〒2440816横浜市戸塚区上倉田町	
12	A	衛藤 利治	退職	〒8410002佐賀県鳥栖市柚比町	12期連絡員
12	A	新井 宏	御逝去		
12	F	田中 紘治	退職	〒3501315埼玉県狭山市北入曽	
12	F	野口 昭徳	退職	〒2701471千葉県船橋市小室町	
12	N	橋田 典幸	退職	〒7222102広島県因島市重井町	
12	N	佐藤 備凡	退職	〒2110041川崎市中原区小田中	12期主将
12	N	津川 保夫	退職	〒7370054広島県呉市上山田町	
13	A	西村 繁樹	防大	防大国防論教授	
13	A	戸田 勝秋	退職	〒4910074愛知県一宮市東島町	
13	A	益田 修	退職	〒8612101熊本県熊本市桜木	
13	A	石原 薩雄	退職	〒8611102熊本県菊池郡西合志町須屋	
13	A	高本 俊之	御逝去		13期主将 13期連絡員
13	A	白石 克成	退職	〒3210132栃木県宇都宮市雀の宮	
13	F	松生 剛	退職	〒4418135愛知県豊橋市富士見台	
14	A	赤瀬 良二	北千歳	〒3210132 栃木県宇都宮市雀の宮	
14	A	清水 直正	退職	〒3770004東京海上火災 浜川市半田	
14	A	中原 勇	退職	〒8913104鹿児島県西之表市住吉	14期副将
14	A	清水 重周	退職	〒2900155千葉県市原市番場	14期連絡員
14	A	原田 敏男	退職	〒7541241吉敷郡阿知須町浜表	
14	A	斎藤 正精	退職	〒2270033神奈川県横浜市青葉区鴨志田町	
14	F	高瀬 好美	退職	〒4460073愛知県安城市篠目町古林畔	14期主将
14	F	今井 岸夫	退職	〒7190234岡山県浅口郡鴨方町益坂	
14	N	森田 則広	御逝去		
15	A	古川 照久	退職	〒3510035埼玉県朝霞市朝志ヶ丘	
15	A	大竹 義信	退職	〒0670026北海道江別市豊幌花園町	
15	A	花房 晃夫	退職	〒8610115熊本県鹿本郡植木町米塚	15期主将
15	A	野間口 光男	退職	〒8910103鹿児島県鹿児島市長田町	
15	A	遠田 雅美	退職	〒0650005北海道東区北5条	
15	A	井口 昌之	退職	〒3310823さいたま市北区日進町	
15	A	安村 幸次	退職	〒2130002神奈川県川崎市高津区二子	
15	A	岡 隆	退職	〒1750084東京都板橋区四葉	
15	A	加藤 三千夫	防大	防衛大学校 防衛学群	
15	A	土居 良治	退職	〒0802474帯広市西24条南	
15	A	長舩 敬天	退職	〒6700893兵庫県姫路市平野	
15	A	奥野 耕三	退職	〒5820026柏原市旭ヶ丘	
15	A	三嶋 利克	退職	〒2750026千葉県習志野市谷津	
15	A	上杉 和壽	退職	〒4130011静岡県熱海市田原本町	15期連絡員
15	F	島田 徹	退職	〒4371213静岡県磐田郡福田町塩新田	
15	F	福嶋 健司	退職	〒8111302福岡市南区井尻	
15	N	今村 修二	退職	〒2240029横浜市都筑区南山田	
15	N	山崎 富雄	退職	〒2330006神奈川県横浜市南区芹が谷	
15	N	中島 栄一	退職	〒1740061東京都板橋区大原町	
15	N	山下 啓介	退職	〒2350024神奈川県横浜市磯子区森ヶ丘	
16	A	富本 啓一	明野	航空学校長	16期副将・連絡員
16	A	平川 真士	自黒	陸幹部学校教育部統率管理教官室長	
16	A	佐々木 二郎	退職	〒1870013東京都小平市回田町	
16	A	内山 晃	退職	〒3501305埼玉県狭山市入間川	
16	A	芦岡 広明	十条	航空統制本部長	16期主将
16	A	斎藤 健治	退職	〒8740905大分県別府市上野口町	
16	A	岡田 正一	退職	〒6540122兵庫県神戸市須磨区道正台	
16	A	竹内 準一	退職	〒703-8204岡山市雄町	
16	F	小笠原 猛	退職	〒7360082広島県広島市安芸区船越	
16	F	八木橋 享	御逝去		
16	N	阿部 哲夫	退職	〒2360032神奈川県横浜市金沢区六浦町	
16	N	福島 一夫	御逝去		
17	A	荒木 正廣	退職	〒8390852 久留米市高良内町	
17	A	飯島 定雄	退職	〒2770823 柏市布施新町	
17	A	小池 保治	退職	〒3420041 埼玉県吉川市保	
17	A	小坂 正志	退職	〒2610004 千葉県千葉市美浜区高洲	
17	A	佐藤 吉信	退職	〒9892351 宮城県亶理郡亶理町仲町東	
17	A	沢 博海	退職	〒7390008 広島市西条吉行東	17期主将
17	A	鈴木 陽	退職	〒2210822 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川	奥平会副会長
17	A	高橋 輝正	退職	〒1930816 東京都八王子市大栗寺町	
17	A	富安 久芳	退職	〒8390861 福岡県久留米市合川町	17期副将
17	A	中尾 吉孝	退職	〒3591111 埼玉県所沢市緑町	17期連絡員
17	A	廣瀬 誠	市ヶ谷A	陸上幕僚副長	
17	A	福澤 賢	退職	〒1150051 東京都北区浮間	
17	A	細田 俊夫	退職	〒3700864 群馬県高崎市石原町	
17	A	村田 芳次	退職	〒2390820 神奈川県横須賀市光風台	
17	A	山本 剛	退職	〒0470155 北海道小樽市望洋台	
17	A	吉川 雄二	退職	〒2410801 神奈川県横浜市旭区若葉台	
17	N	久和 清幸	退職	〒8511200 長崎県西彼杵郡時津町左底郷	
17	N	塔岡 道夫	退職	〒6240813 京都府舞鶴市今田	17期副将

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
17	N	西嶋 正幹	退職	〒9813362 宮城県黒川郡富谷町日吉台	
17	F	石渡 幹生	奈良	幹部候補生学校長	奥平会会長
17	F	磯野 茂樹	退職	〒3310801 埼玉県さいたま市北区今羽町	
17	F	稲見 潔	退職	〒2840043 四街道市めいわ	
17	F	永富 信吉	退職	〒2770884 千葉県柏市みどり台	
17	F	西岡 義博	退職	〒5700096 大阪市守口市外島町	
17	F	前田 慎一	退職	〒2320074 神奈川県横浜市南区永田三王代	
17	F	松田 清明	退職	〒9010153 沖縄県那覇市上原	
18	A	安藤 恒夫	退職	〒3210912 栃木県宇都宮市石井町	
18	A	中島 仁文	健軍	西部方面総監部 監察官付	
18	A	大西 正俊	十条	補給統制本部長	
18	A	麩澤 章雄	東千歳	北部方面指揮所訓練支援隊副隊長	
18	A	宮田 秀二	霞ヶ浦	関東補給処航空部	
18	A	川原 彰	札幌	北方警務隊	
18	A	首藤 敏明	霞ヶ浦	関東補給処朝日燃料支処長	
18	A	柴村 敏二	朝霞	朝霞駐屯地業務隊長	
18	A	上田 正文	立川	立川業務隊長	
18	A	工藤 重見	市ヶ谷A	中央業務支援隊	
18	A	門野 睦廣	十条	補給統制本部情報処理部長	
18	A	千原 和人	朝霞	東部方面後方支援隊副隊長	
18	A	河野 基春	健軍	九州補給処(健軍支処)	
18	A	渡辺 義幸	飯塚	2高特団副長	
18	F	長尾 齋	市ヶ谷F	空自情報保全隊司令	18期副将
18	F	等原 久	目黒	幹部学校第3研究室長	18期連絡員
18	F	勘米良幸一	御逝去		18期主将
18	F	白敷 裕樹	退職	〒6150883 京都市右京区西京極南大入町	
18	N	近藤 清司	小月	小月航空基地隊	
18	N	平原 誠	鹿屋	鹿屋航空基地隊司令	
18	N	松井(齊藤)博	下総	第203整備補給隊	
18	N	岩瀨 秀樹	横須賀	横須賀地方総監部防衛部長	
19	A	津留崎 清宝	相馬原	12旅団司令部 教養幹部	
19	A	園部 武典	市ヶ谷A	陸上幕僚監部 情報課	19期副将
19	A	三星 忠正	退職	〒9650832 福島県会津若松市天神町	
19	A	前之園 敏雄	退職	〒2701334 千葉県印西市西の原	19期主将
19	A	屋久 俊郎	習志野	習志野業務隊 総務課	19期連絡員
19	A	青柳 忍	退職	〒9813135 仙台市泉区人乙女中央	
19	A	野村 俊朗	富士	装備実験隊 第3実験科	
19	A	迫田 直心	退職	〒8691221 熊本県菊池郡大津町陣内	
19	A	廣瀬 和紀	退職	〒8700839 大分市金池町	
19	A	東 光博	退職	〒2790026 千葉県浦安市弁天	
19	A	古庄 和裕	駒門	駒門駐屯地業務隊	
19	F	田中 秀明	退職	〒1240025 葛飾区西新小岩	
19	F	郷田 進	入間	中部航空警戒管制団 整備補給群司令	
19	F	松下 睦裕	十条	装備本部 東京支部	
19	F	藤井 和弥	退職		
19	F	吉本 博	退職	〒9230342 石川県小松市矢田野町ル	
19	F	磯 光三	退職	〒3580024 入間市久保稲荷	
19	F	小曲 一之	目黒	幹部学校教育部	
19	F	園山 栄一	退職	米国在住	19期副将
19	F	杉山 昌宏	退職	〒2440801 神奈川県横浜市戸塚区信濃町	
19	N	松山 守秀	下総	下総教育航空群司令	
20	A	山形 克己	明野	航空学校副校長	
20	A	仲原 久晃	市ヶ谷A	契約監査隊本部	20期主将
20	A	半澤 康司	市ヶ谷A	中央業務支援隊総務部長	20期副将
20	A	楠本 裕幸	相馬原	相馬原駐屯地業務隊長	
20	A	榎 喜隆	久里浜	通信学校第2教育部長	
20	A	高岡 正明	飯塚	第2施設副群長	20期副将
20	A	小林 実	朝霞	体育学校 研究科	20期連絡員
20	A	浅原 昭夫	十条	補給統制本部	
20	A	伏木 亨	安平	北海道補給処安平弾薬支処長	
20	A	馬場崎 修	退職	〒1840011 東京都小金井市東町	
20	F	南園 宏	入間	中部警戒官制団防衛部長	
20	F	田中 和之	千歳	第3高射群司令	
20	F	高林 久	入間	開発集団監理監察官	
20	F	岳川 清美	入間	第1高射群副指令	
20	F	石田 裕	春日	西部警戒管制団補給群司令	
20	F	岸本 昌文	退職	〒4800146 丹羽郡大口町余野	
20	N	木村 孝彦	那覇	第5整備補給隊司令	
21	A	高橋 久泰	青森	第9後方支援連隊副連隊長	
21	A	桑原 幹夫	桂	関西補給処総務部長	
21	A	湖崎 隆	勝田	施設学校長	21期連絡員
21	A	加藤 隆	札幌	北部方面隊人事部援業課長	
21	A	澤井 研次	守山	第10師団監察官	
21	A	野中 敏治	御逝去		
21	A	花田 一志	仙台	東北方面情報保全隊	
21	A	浜崎 勝	十条	補給統制本部	
21	A	園田 郁夫	守山	守山駐屯地業務隊長	
21	A	大谷 昭次郎	千僧	千僧駐屯地業務隊長	
21	A	濃部 誠	三宿	技研本部第2研究所第1部	
21	A	貴志 倫生	千僧	千僧駐屯地業務隊	
21	F	松本 修司	市ヶ谷	施設庁施設連絡官	
21	F	真田 雅章	下飯島	西警団9警戒隊長	
21	F	平本 行	入間	中部航空隊司令部	
21	F	沼田 幸男	十条	補給本部	
21	F	木山 幸保	十条	補本人事課長	
21	F	廣江 勝馬	十条	補給本部会計監察官	
21	F	杉本 弥行	入間	4補保管部長	
21	F	朱 永武	留学生	シンガポール在住	
21	F	鍋島 和史	退職		21期副将
21	F	黒澤(関谷)豊彦	浜松	第1術科学校 整備部長	21期主将
21	N	笹島(城山)宏	退職	〒3100912 茨城県水戸市見川	
21	N	福岡 誠	十条	補給本部	

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
21	N	村田 隆彦	横須賀	開発群首席幕僚	
21	N	山口 次郎	目黒	幹部学校運用課計画指導班	21期副将
22	A	野口 利保	南恵庭	第73戦車連隊長	22期副将
22	A	財城 昭彦	伊丹	中部方面隊総務部長	
22	A	永栄 文晴	札幌	北部方面隊後方支援隊長	
22	A	吉岡 聖二	大久保	第4施設団副団長	22期主将
22	A	松本 俊二	真駒内	第11特科連隊副連隊長	
22	A	原田 有繁	美唄	第2地对艦ミサイル連隊副連隊長	
22	A	松村 利宏	市ヶ谷A	陸上幕僚監部防衛部防衛課防衛班	22期連絡員
22	A	大本 健吾	小平	小平学校情報教育部第1教育課第3教室	
22	A	島松 正一	大村	大村駐屯地業務隊長	
22	F	永瀬 盛重	市ヶ谷	統幕サイバー保全班長	
22	F	野村 勝廣	市ヶ谷	中業隊副司令	
22	F	堂込 勝也	十条	補本企画課長	22期副将
22	F	酒井 伸	三沢	警空	
22	F	木戸 文夫	小牧	救難教育隊長	
22	F	横手 裕明	小牧	第5術科学校2教部長	
22	F	小関 信宏	市ヶ谷F	情本	
22	N	塚田 真司	目黒	幹部学校教育	
22	N	延近 保生	厚木	3術校教育1部長	
22	N	高塚 裕幸	呉	第4護衛隊	
22	N	中谷 茂	目黒	統幕教室	
22	N	坊垣内 広明	退職	〒2320061横浜市南区大岡	
23	A	丸山 和宏	真駒内	第18普通科連隊副連隊長	
23	A	若杉 治徳	札幌	北部方面總監部(総)	
23	A	岩田 清文	伊丹	中部方面隊幕僚副長	
23	A	谷崎 敏弘	名寄	第3普通科連隊副連隊長	
23	A	日高 政広	札幌	北部方面隊幕僚副長	23期連絡員
23	A	奥野 和男	上富良野	上富良野駐屯地業務隊長	
23	A	浦川 平次	千葉	自衛隊千葉地方連絡部 募集課長(不明)	
23	A	松岡 和利	横浜	契本(横浜)	
23	A	三木 元秀	宇治	関西補給処	23期主将
23	A	廣塚 雅史	善通寺	第15普通科連隊長	
23	F	松尾 茂	目黒	幹部学校第2研究室	
23	F	池邊 正	小牧	第5術科学校副校長	23期副将
23	F	宮田 義章	芦屋	第3術科学校	
23	F	シンナロン	留学生	タイ王国在住	
23	F	川添 一正	退職	〒8900073鹿児島県鹿児島市宇宿	
23	F	馬谷 誠二	退職	〒5810025大阪府八尾市天王寺屋	
23	N	山下 啓治	防大	防衛大学校 防衛学群	
23	N	数野 謙一	田浦	第2術科学校総務課長	
23	N	井ノ久保 雄三	横須賀	第5護衛隊司令	
23	N	四元 和生	目黒	海上自衛隊幹部学校 第2教室	
23	N	井口 義定	厚木	第51航空隊第51整備隊長	23期副将
23	N	畑中 孝行	佐世保	第6護衛隊司令	
24	A	芹川 慎介	別海	別海駐屯地業務隊長	
24	A	太田 尚志	仙台	東北方幕僚副長	24期副将
24	A	堀之内 誠	小平	小平学校情報教育部	
24	A	大久保和美	滝が原	普通科教導連隊副連隊長	
24	A	西津 護	千僧	兵庫地方連絡部	
24	A	山田 雅巳	市ヶ谷A	統幕(3幕) 太平洋軍司令部	
24	A	瀧 靖隆	霞ヶ浦	関東処務武部長	
24	A	稲葉 貞志	明野	航空学校第2教部長	
24	A	金田 辰美	吉井	関東補給処(吉井)	
24	A	山川 純次	富士	装備実験隊副隊長	
24	A	浅野 博義	八戸	第4地对艦ミサイル連隊長	
24	A	中村 健蔵	小平	小平学校システム教育部長	
24	A	高澤 慎司	退職	東京アイシーエス 〒1140013東京都北区東田端	
24	A	常田 義則	退職		
24	F	出口 潔	新田原	5空団 基地業務群司令	24期主将
24	F	中館 利光	岐阜	契約管理事務所	24期連絡員
24	F	佐藤 秀幸	那覇	南西航空警戒管制隊副司令	
24	F	清水 尚志	市ヶ谷F	契約本部	
24	F	藤城 希恭	立川	航安隊	
24	F	山田 眞一	那覇	南混団司令部防衛部	
24	N	佐伯 泰啓	市ヶ谷N	基礎情報支援隊	
24	N	小川 勝志	横須賀	潜水艦訓練隊 教育科長	
24	N	中村 早連	呉	ひうち艦長	
24	N	山本 浩	御逝去		
24	N	松田 俊宏	退職	〒7330843広島市西区井口鈴が台	24期副将
24	N	長谷川 隆	退職	〒4910057愛知県一宮市今伊勢町宮後字宮代	
25	A	田草川茂人	青森	第5普通科連隊長	25期副将
25	A	大内 元	神町	第6後方支援連隊長	
25	A	岡元 正一	仙台	東北補給処	
25	A	石川 哲也	仙台	東北方面總監部(総)	
25	A	小野寺 靖	市ヶ谷A	陸幕総括副監察官	
25	A	佐伯 義次	相浦	西方普通科連隊副連隊長	
25	A	重石 義幸	富士	富士学校特科部教育課長	
25	A	小菅 康雄	富士	開発実験団 総務科	
25	A	若本 順二	千僧	第3師団司令部 総務課	
25	F	安芸 一	市ヶ谷F	航空幕僚監部 情報保全室長	
25	F	坂本 卓己	岐阜	第2補給所資材計画部長	25期副将
25	F	藤吉 恵二	十条	補本	
25	F	尾崎 信朗	十条	補本	
25	N	高島 修	市ヶ谷	情報本部人事教育課	
25	N	内山 哲也	目黒	幹部学校演習装置運用課計画指導班長	25期主将 連絡員
25	N	杉原 耕二	呉	第8護衛隊司令	
25	N	籠谷 貴年	横須賀	艦艇開発隊潜水艦科長	
25	N	河村 正雄	市ヶ谷N	海幕 補任課長	
26	A	内海 浩	明野	航空学校整備部長	
26	A	河原 敏和	退職	〒1760005練馬区旭ヶ丘	
26	A	小野 長門	退職	〒8650015玉名市亀甲 崇城大学工学部	

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等	主持・副将・期連絡員
26	A	瀧沢 由則	退職	三菱スペースソフトウェア 鎌倉事務所	
26	A	中村 明弘	退職	〒2260027横浜市緑区長津田	
26	A	及川 幸夫	札幌	北部方面総監部人事部	
26	A	友部 隆	市ヶ谷A	中央システム管理隊3科長	
26	A	松田 正行	札幌	北部方面隊調査部調査課	
26	A	金子 寿弥	市ヶ谷A	防衛庁防衛局(内閣府出向)	
26	A	吉田 英紀	健軍	西方施設課長	
26	A	吉田 吉宏	古河	関東補給処古河支処	
26	A	坂野 佳彦	富士	富士学校機甲科部研究課長	
26	A	山下 清隆	八戸	第5高射群副群長	
26	A	谷 俊彦	健軍	西方陸上連絡官	
26	A	石山 晔	練馬	東部方面総監部 情報保全隊	
26	A	石川 毅	市ヶ谷A	情本	
26	F	米子 誠二	入間	第3補給所調達部長	
26	F	池島 暢也	三沢	警戒航空隊第1整備群司令	26期副将 連絡員
26	F	澤木 優輔	退職	〒2370064神奈川県横須賀市追浜町	
26	F	福島 睦	市ヶ谷F	空幕監察官	
26	F	星川 敦	府中	総隊司令部装備部整備課	
26	N	市坪 秀明	舞鶴	第3護衛群 せとぎり艦長	
26	N	相良 達也	下総	第205教育航空隊	
26	N	道満 誠二	市ヶ谷N	海幕 調査部情報保全室長	26期主持
26	N	佐藤 寿紀	市ヶ谷N	海幕総務調整官かねて総務班長	
26	N	杉山 義和	船越	掃海隊司令部幕僚	26期副将
26	N	水野 伸彦	厚木	航空集団司令部	
26	N	上野 眞一郎	江田島	第1術校主任教官	
26	N	平野 勝	退職	(不明)	
27	A	濱田 秀	目黒	防研(戦史)	
27	A	米山 多佳志	目黒	幹部学校研究班長	
27	A	行事 正	富士	開発実験団 装備実験隊 企画班	
27	A	津田 浩司	朝霞	東部方面総監部	
27	A	大場 基美雄	札幌	北方調査部	
27	A	角南 良治	市ヶ谷A	統幕運用2課長	
27	A	舞原 博己	久里浜	通信学校第1教育部技術教官室長	
27	A	山之上 哲郎	市ヶ谷A	陸幕教育訓練計画課長	
27	A	大居 一之	下志津	高射学校	
27	A	大石 隆一	市ヶ谷A	情報保全隊本部 市ヶ谷班長	
27	A	長合 友造	朝霞	研究本部主任研究開発官	
27	A	緒方 禎浩	御逝去		27期副将
27	A	川村 治彦	退職	〒3050046茨城県つくば市東2-10-2-201	27期主持
27	A	馬場 政和	退職	(不明)	
27	F	西山 利昭	退職	〒3810000長野県長野市往住地	
27	F	蔵田 衛人	退職	日商岩井	
27	F	沢村 徹	退職	〒1940035東京都町田市忠生	27期副将
27	F	元木 啓嗣	市ヶ谷F	空幕監理監察官付	
27	F	堀田 隆治	市ヶ谷F	空幕 総務部総務調整官	27期連絡員
27	F	足立 謙聡	入間	航空救難団 団司令部 防衛部	
27	F	高野 宗治	市ヶ谷F	空幕 防衛部	
27	F	甲斐 新太	築城	8空団	
27	F	兼古 修	市ヶ谷	統幕3室	
27	N	益田 徹也	鹿屋	第1航空群司令部 首席幕僚	
27	N	菱口 俊介	目黒	統幕学校学生	
27	N	山田 洋士	厚木	航空プログラム隊プログラム2科長	
27	N	小川 昌宏	呉	指隊機関科長	
27	N	五領 隆男	呉	第3潜水隊はやしお艦長	
27	N	中里 巧	退職	〒4800146丹羽郡大口町余野	
28	A	足立 哲彦	市ヶ谷A	陸上幕僚監部 装備部 装計	
28	A	岡澤 武彦	市ヶ谷A	技本 陸開 新戦車準備室	
28	A	北原 秀章	仙台	東北方面総監部訓練課長	
28	A	矢野 光宏	青森	9師団3部長	28期副将
28	A	永井 大介	退職	日立造船情報システム	
28	A	越水 達哉	退職	〒6495332東牟婁郡那智勝浦町朝日	
28	A	吉田 正人	退職	〒2280812相模原市相南	
28	A	畦地 勇	退職	〒1680082杉並区久我山	
28	A	鶴見 耕市	退職	〒2440801神奈川県横浜市戸塚区臨濃町	
28	A	湯浅 悟郎	市ヶ谷A	陸幕 教育訓練部教育訓練計画課企画班長	28期主持 連絡員
28	A	藤原 修	朝霞	研究本部	
28	A	日高 信行	東千歳	北方指訓支隊	
28	A	古賀 敏明	北熊本	第8特科連隊3大隊長	
28	A	三好 邦夫	豊川	第10特科連隊第4大隊長	
28	A	幸野 英明	松山	第14特科隊長	
28	F	白水 裕人	当別	北部警戒管制団45警戒管制群司令	
28	F	今井 邦夫	十条	補給統制本部 第3部第3整備課	
28	F	山田 頭嗣	防府北	12飛行教育団航空学生教育群教育主任	
28	F	末廣 勝己	三沢	3空団	
28	F	堀米 浩章	千歳	第2航空団飛行場勤務隊長	
28	F	神山 隆	退職	〒3001231茨城県牛久市猪子町	
28	F	米田 健二	退職	(不明)	
28	N	内田 公明	横須賀	艦隊隊計測科長	
28	N	上野 清昭	横須賀	自衛艦隊司令部	
28	N	竹本 直忠	防医大	防医大訓練課訓練課長補佐	
28	N	河津 稔	大湊	大湊地方総監部 経理課長	
28	N	西小路 謙	退職	〒8802112宮崎市小松	28期副将
28	N	中川 勝也	退職	〒4700471愛知県西加茂郡藤岡町石畳	
28	N	平島 一	退職	日本電腦相談	
28	N	鈴木 巧	退職	〒3050041茨城県つくば市上広岡	
29	A	古田 清悟	習志野	第1空挺団	
29	A	甲斐 正人	目黒	幹部学校教育教育部教務課教務班長	29期連絡員
29	A	水上 義仁	市ヶ谷A	統合幕僚会議事務局	
29	A	大川 浩史	習志野	第1空挺団第3普通科大隊長	29期副将
29	A	谷 拓弥	小平	小平学校教育	
29	A	立林 剛	市ヶ谷A	陸幕補給管理班長	29期副将
29	A	松岡 恭一	退職	〒2700001千葉県松戸市幸田	

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
29	A	坂井 辰也	退職	〒8492101佐賀県杵島郡大町町大町	29期主将
29	A	青柳 光	退職	〒4093862山梨県中巨摩郡昭和町上河東	
29	A	川上 和美	退職	〒8574413長崎県南松浦郡上五島町今里郷	
29	A	浅川 玉樹	退職	〒2160004神奈川県川崎市宮前区鷺沼	
29	A	託摩 安廣	退職	〒0798413旭川市永山3条	
29	A	中村 浩之	大阪	大阪地本募集課長	
29	A	古川 靖人	東千歳	第101高射直接支援大隊	
29	A	新保 博徳	防大	防衛大学校防衛学教育群	
29	A	駒井紀美彦	守山	第10化学防護隊長	
29	A	津田 芳明	十条	補給統制本部	
29	A	蛭原 良雄	上富良野	第103全股支援大隊長	
29	A	鈴木総一郎	御逝去		
29	F	熊田原 修	小牧	第1輸送航空隊整備業務群整備主任	
29	F	西村 政恭	十条	補本付	
29	F	高松 実	目黒	第2期統合高級課程	
29	N	宮田 敏邦	舞鶴	うみたか艇長	
29	N	山崎 浩一	市ヶ谷N	統幕装備体系班長	
29	N	柏木 均	呉	潜水訓練隊 教務科長	
29	N	佐竹 右幾	退職	〒9260828七尾市白馬町ワ部	
29	N	小屋敷 秀彦	退職	〒3710246群馬県勢多郡宮城村柏倉	
30	A	亀山 淳	北富士	富士訓練センター評価支援隊長	
30	A	宮本 善弘	市ヶ谷A	陸幕装備部航空機課	
30	A	山口 芳正	目黒	#54防研	
30	A	菅野 俊夫	目黒	幹部教官	
30	A	池永 博和	市ヶ谷A	通信団 システム防護隊	30期副将
30	A	土屋 甲吉	目黒	第2期統合高級課程	
30	A	福田 洋司	十条	補給統制本部企画課長	30期主将 連絡員
30	A	笠島 広文	退職	鯖江市役所 環境政策室	
30	A	魚躬 治晴	退職	〒2250015横浜市青葉区佳田北	
30	A	松岡 恭一	退職	〒2700001千葉県松戸市幸田	
30	A	船津 達男	退職	〒8221101福岡県田川郡赤池町大字赤池	
30	A	中井 馨	退職	〒6660111兵庫県川西市大和東	
30	A	岩熊 真司	市ヶ谷A	陸上幕僚監部 装備部(武化)	
30	A	魚住 晴康	目黒原	西部方面航空隊	
30	A	林 宏幸	十条	補給統制本部	
30	A	中森 雅美	市ヶ谷A	陸幕管理班長	
30	A	西 良典	善通寺	第15普通科連隊	
30	A	中村 大助	旭川	第2特科連隊第2大隊長	
30	A	矢納 裕二	市ヶ谷A	陸幕 管理部会計課	
30	A	中川 洋行	明野	開発実験団飛行実験隊	
30	F	栗田 尚幸	御逝去		
30	F	後藤 豊	退職	〒9930002山形県長井市屋城町	
30	F	黒田 健一	退職	〒6512224神戸市西区秋葉台	
30	F	西本 彰雄	市ヶ谷F	空幕 運用支援情報部	
30	F	吉田 憲司	目黒	幹部学校 作戦情報教官	30期副将
30	F	橋爪 猛	市ヶ谷F	空幕 装備部整備課	
30	F	高橋 親敏	市ヶ谷	統幕4室	
30	N	湯浅 秀樹	目黒	第2期統合高級課程	
30	N	百崎 邦彦	鹿屋	第211教育航空隊	
30	N	時久 寛司	市ヶ谷N	海幕 航空機課	
30	N	鈴木 達雄	退職	〒4850812小牧市城山	
31	A	亀山 慎二	朝霞	中央即応集団防衛部長	31期副将
31	A	石丸 威司	目黒	#54防研	
31	A	中川 博英	市ヶ谷A	陸幕 装備部需品課	
31	A	椎野 健治	木更津	第1ヘリコプター団	
31	A	田口 直志	春日井	10後支連2整大中長	
31	A	藤岡登志樹	目黒	第2期統合高級課程	
31	A	佐野 光	市ヶ谷A	陸幕 情報課 総合情報班長	
31	A	松井 健一	健軍	第5地对艦ミサイル連隊	
31	A	吉武 辰明	朝霞	体育学校	31期主将
31	A	久保 敏浩	伊丹	中部方面總監部 防衛部	
31	A	辻 政幸	目黒	幹部学校研究班第1教官室	
31	A	橋本 哲彰	旭川	第2飛行隊長	
31	A	池ノ本八郎	吉井	補給統制本部(吉井)	
31	A	久富 博幸	退職	(不明)	
31	A	大島龍一郎	退職	〒5700096守口市外島町5-38C-702	
31	A	辰巳 竜梧	退職	日本紛争予防センタースリランカ地雷除去プロジェクトマネージャー	
31	F	阿部 博文	外務省	外務省	
31	F	北村 克晶	市ヶ谷	空幕装備体系課	
31	F	野沢 隆一	市ヶ谷	統幕5室	31期副将
31	F	澁澤 寛	防府	12教団	
31	F	近藤 良彦	築城	8空団	
31	F	小南 良人	御逝去		
31	N	迫田 浩文	呉	うみぎり	31期連絡員
31	N	岡田 岳司	呉	しもきた副長	
31	N	久保田修一	市ヶ谷	海幕装備体系課	
31	N	甲斐 義博	佐世保	あさかせ副長	
31	N	蝦名 伸治	市ヶ谷	情報本部	
31	N	大井 一史	目黒	#54防研	
32	A	境 孝明	目黒	幹部学校第1教官室	
32	A	山地 伸一	善通寺	2混団後支中長	
32	A	小田 益男	帯広	5旅団司令部1部人事班長	
32	A	上山 聡	市ヶ谷A	情本(美保)	
32	A	川崎 誠二	八尾	3飛行隊長	
32	A	大塚 裕治	目黒	幹部学校付(早稲田大学)	32期主将
32	A	竹内 利治	立川	東方航空隊本部付隊	
32	A	中村 裕亮	市ヶ谷A	陸上幕僚監部 防衛課 防衛班	
32	A	福重 毅尚	健軍	西方總監部人事課人事1班長	32期連絡員
32	A	平田 雄嗣	(不明)	(不明)	32期副将
32	A	大塚 和也	朝霞	研究本部	
32	A	福元 昌二	旭川	第2特科連隊3課長	
32	A	更エ 雅彦	退職	奈良県警	

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等	主持・副持・期連絡員
32	A	市来 道啓	退職	秋貞逸郎税理士事務所	
32	A	小原 真二	退職	エア・コミュニケーター	
32	A	神保 俊昭	退職	〒1760012練馬区豊玉北3-13-4-203	
32	A	田口 芳郎	退職	ワールドジ奥斯ポーツ	32期副持
32	F	高橋 秀雄	市ヶ谷F	航空幕僚監部 防衛部 防衛課 編成班	
32	F	渡部 誠	岐阜	飛行実験団 飛行実験群飛行隊	
32	F	鈴木 憲	千歳	第2航空団整備補給群整備隊長	
32	F	山口 直人	入間	航空救難団司令部	
32	F	植村 茂己	市ヶ谷F	航空幕僚監部 教育課 術科教育班	
32	N	河上 康博	勝連	46掃海隊司令	
32	N	後藤 幸英	退職	〒1500012渋谷区広尾	
32	N	松尾 研志	退職	(不明)	
32	N	澤本 武朝	退職	(不明)	
33	A	柿野 忠嗣	(不明)	(不明)	
33	A	山本 真也	勝田	施設学校企画副室長	
33	A	大津 勝利	市ヶ谷A	陸幕 人事部 援護業務課	
33	A	谷口 喜一郎	習志野	第1空挺団 第1普通科大隊長	33期副持
33	A	池田 誠喜	土浦	武器学校	
33	A	中塚 修一	札幌	北部方面総監部 防衛部	
33	A	富隆 勇一	市ヶ谷A	陸上幕僚監部 監理部 会計課	
33	A	近藤 哲也	帯広	第5特科隊	
33	A	山本 裕一	市ヶ谷A	陸上幕僚監部 装備部 施設	
33	A	細野 容司	伊丹	中部方面総監部 防衛部	
33	A	郡山 直樹	郡山	第6特科連隊	
33	A	久永 智	退職	〒2291103神奈川県相模原市橋本	
33	A	川崎 英幸	退職	〒7330874広島市西区古江西町	33期主持
33	A	椎葉 博正	退職	芙蓉総ロリース 新宿支店	
33	A	半澤 新吾	退職	(不明)	
33	F	岡本 秀文	千歳	特輸隊	
33	F	荒木 俊一	府中	総隊	
33	F	高草木 浩寿	三沢	北空	
33	F	御厨 広之樹	三沢	6高群23高射隊長	
33	F	新崎 秀樹	春日	西部航空方面隊司令部	
33	F	田中 勝也	退職	〒2701334印西市西の原	
33	F	増田 友晴	市ヶ谷F	航空幕僚監部 補任課	
33	N	関口 雄輝	市ヶ谷N	海上幕僚総監部 厚生課 給与室	33期副持
33	N	町島 敏幸	岩国	第81航空隊 飛行隊長	33期連絡員
33	N	渡邊 浩	大湊	大湊地方総監部 防衛部	
33	N	鶴澤 直樹	退職	〒8900035鹿児島市田上町	
33	N	高橋 真一	退職	〒8910175鹿児島市桜ヶ丘	
33	N	西窪 純	退職	〒2480026鎌倉市七里ガ浜	
34	A	石黒 太美英	朝霞	東部方面総監部 防衛部 付	
34	A	田中 一斐	市ヶ谷A	陸幕 教訓部 教育計画課	34期副持
34	A	氷室 正一郎	退職	(不明)	
34	A	竹内 博忠	富士	装備実験隊	34期連絡員
34	A	田丸 正勝	市ヶ谷A	陸上幕僚監部 調査部	
34	A	平林 理	北富士	部隊訓練評価隊	
34	A	筒井 鋭達	朝霞	東部方面隊 人事部	34期副持
34	A	能井 智治	土浦	武器学校	
34	A	松永 康則	市ヶ谷A	陸上幕僚監部 防衛部	34期主持
34	A	篠原 康一	十条	補給統制本部	
34	F	小笠原 卓人	岐阜	4高群 12高射隊長	
34	F	田代 秀也	市ヶ谷	空幕 厚生課	
34	F	羽田 充伸	芦屋	3術校	
34	F	河田 成治	退職	(不明)	
34	N	富山 修	(不明)	(不明)	
34	N	丹羽 満良	市ヶ谷N	海上幕僚総監部 航空機課	
35	A	戒田 重雄	市ヶ谷A	中央資料隊付	35期主持 連絡員
35	A	中本 尚明	市ヶ谷A	陸上幕僚監部 監理部 会計課	
35	A	安藤 和幸	朝霞	東部方面総監部 防衛部	
35	A	坂本 雄一	市ヶ谷A	陸幕調査部 調査課	
35	A	袖之原 公郎	立川	第1飛行隊	
35	A	川嶋 和之	霞ヶ浦	航空学校霞ヶ浦校	
35	A	馬淵 貴史	勝田	施設学校研究部	
35	A	中村 健太郎	富士	富士学校 FOC学生(不明)	35期副持
35	A	福本 博氏	板妻	第34普通科連隊 中隊長	
35	A	木場 元大	札幌	北部方面総監部 人事部 人事課	35期副持
35	A	瀬戸口 淳	市ヶ谷A	陸幕 装備部 装備計画課	
35	F	堀 修二郎	府中	航空自衛隊 総隊司令部 防衛部 防衛課	
35	F	中澤 武志	市ヶ谷	空幕 教育課	
35	N	中原 俊行	防大	防衛大学校 指導教官	
35	N	森泉 周	市ヶ谷N	統幕3室	
35	N	加藤 寛和	大湊	第45掃海隊 うわじま艇長	
35	N	三浦 則文	真	しまゆき	
36	A	岩村 伝法	退職	〒8180061筑紫野市紫	
36	A	福島 浩二	市ヶ谷A	情本電(電1)	
36	A	井上 勝	市ヶ谷A	陸幕 人事部 補任課	
36	A	倉田 一	市ヶ谷A	陸幕 防衛部	
36	A	村上 至	市ヶ谷A	統幕(4幕)	
36	A	中村 英昭	真駒内	第11師団訓練班長	36期副持
36	A	藤岡 史生	市ヶ谷	統幕 運用部 防衛警備班	36期主持 連絡員
36	A	矢口 鑑	真駒内	第11師団司令部	
36	A	山田 武彦	十条	補給統制本部	
36	A	榎窪 正和	旭川	第2高射特科大隊	
36	A	前田 尚男	市ヶ谷A	陸上幕僚監部 防衛部 防衛課	
36	A	大北 知史	市ヶ谷A	陸幕 人事部 補任課	
36	A	日高 邦登	宇都宮	第12特科隊 中隊長	
36	F	綿森 昭示	入間	第1高射群指揮運用隊長	
36	N	鳥越 要	目黒	#53CS学生	
37	A	森安 宏徳	豊川	49普通科連隊本部 (IQ#3; H17.1出国)	
37	A	大山 剛	市ヶ谷A	技術研究本部 (3研)	
37	A	河合 寿士	十条	補給統制本部 装備計画部 企画課	

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
37	A	吉田 文二	(不明)	(不明)	
37	A	山下 豊	東千歳	北部方面指揮所訓練支援隊	
37	A	児玉 洋	相馬原	第48普通科連隊	
37	A	平瀬 義	勝田	施設学校研究部	37期主将
37	A	古田 和之	伊丹	第3師団司令部 第4部	
37	A	富原 大治	北富士	部隊訓練評価隊	
37	F	中居 景	小牧	1輸空隊 第401飛行隊	
37	F	久重路 剛	市ヶ谷	空幕施設課	
37	F	矢坂 勝良	府中	航空支援集団	
37	F	塚原 敏夫	市ヶ谷	空幕補給課	
37	N	岩本 正行	下総	第3術科学校航空機整備科	37期副将
37	N	石原 寿英	退職	〒4240000静岡県清水市有東阪	
37	N	木下 治信	目黒	#53CS学生	37期副将
37	N	鈴木 隆弘	目黒	#54CS学生	
37	N	高取 哲郎	市ヶ谷	統幕防衛計画部	37期連絡員
38	A	水野 亮二	土浦	武器学校	
38	A	宮下 克聡	富士	富士学校 学生	
38	A	尼子 将之	伊丹	第3師団司令部 第2部	
38	A	黒子 智彰	朝霞	東部方面総監部 調査部資料課	
38	A	高岡 徳人	富士	富士学校 学生	
38	A	奇藤 浩	板妻	F O C (第34普通科連隊)	38期主将 連絡員
38	F	向井 洋史	十条	補給本部	38期副将
38	N	高橋 俊隆	江田島	海上自衛隊幹部候補生学校教育部教官室航空科	
38	N	中村 格	大湊	第7護衛隊 はまぎり機関長	
38	N	佐藤 滝大	厚木	航空プログラム管理隊	
38	N	城戸 利彰	目黒	#55CS学生	
38	N	平井 穰治	御逝去		
39	A	長濱 誠	退職	(不明)	
39	A	井上 嘉史	北熊本	第42普通科連隊中隊長	
39	A	野本 肇	目黒	幹部学校指揮幕僚課程	39期副将
39	A	西田 美詞	朝霞	東部方面総監部医務官付	
39	A	小澤 謙雄	青森	第9師団司令部 第3部	
39	A	井上 裕策	富士	F O C 学生	
39	A	中村公多朗	目黒	#51CGS学生	39期主将
39	A	蓮下 裕教	習志野	第1空挺団普通科群第2普通科大隊	
39	A	遠藤 英隆	目黒	#51CGS学生	
39	A	三好 英治	朝霞	東部方面総監部 調査部	
39	A	杉原 正典	練馬	東京地連	
39	F	大塚 晋介	目黒	#55CS学生	
39	F	久保 敦	目黒	#55CS学生	
39	F	前床 泰彦	築城	8空団 飛行群 6飛隊	
39	N	鳥越 渉	退職	(不明)	
39	N	松崎 徹	十条	補本	
39	N	大松 清生	下関	第43掃海隊 まきしま艇長	
40	A	朽木 誠	滝ヶ原	訓練評価支援隊	
40	A	奈良 一志	市ヶ谷A	情報本部	
40	A	上野 洋介	目黒	#51CGS学生	40期主将 連絡員
40	A	永友 恒知	富士	開発実験団装備実験隊	
40	A	高田 善行	朝霞	第1施設大隊第1中隊長	
40	A	熊本 厳	目黒	#50CGS	
40	F	守井 孝志	築城	8空団 飛行群 304飛隊	40期副将
40	F	岩本 正臣	市ヶ谷F	空幕防衛部装備体系化	
40	F	小坂 淳	美保	第3輸送航空隊	
40	F	山田 賢治	市ヶ谷	情報本部	
41	A	島ノ江英毅	松戸	需品学校	
41	A	小段 雄三	富士	富士学校普通科部教育課訓練班	
41	A	建部 広喜	勝田	施設学校教育部	
41	A	吉村 裕樹	岩手	9特科連隊 2特科大隊 中隊長	
41	A	佐久間 博	前川原	幹部候補生学校	
41	A	中江 宏彰	勝田	施設教導隊第2中隊	
41	A	阿達 文明	習志野	第1空挺団普通科群団本部中隊	
41	A	川崎 英輔	前川原	幹部候補生学校	
41	A	後藤 仁志	目黒	#52CGS学生	41期主将 連絡員
41	A	片上 裕文	守山	第10師団司令部 第3部	
41	A	小林 貴	目黒	#52CGS学生	
41	A	綿貫 俊一	目黒	#50CGS	
41	A	石井 伸幸	目黒	幹校(学)	
41	A	曾我辺信久	目黒	#50CGS	
41	F	松下 尚之	入間	電実群	
41	F	三宅 英明	防大	防衛大学校 21中隊	41期副将
41	F	和崎 拓己	岐阜	飛行開発実験団飛行実験群航空機技術隊	
41	F	インゲバハデス	留学生	フィリピン	
41	N	大川 洋史	退職	〒5203232滋賀県甲賀郡甲西町	
42	A	井田 輝彦	市ヶ谷	技術研究本部 技術開発官(陸) 1室	
42	A	清水 優	東千歳	第7後方支援連隊補給隊	
42	A	葛西 成彦	守山	第35普通科連隊	
42	A	古賀 信之	目黒	#52CGS学生	42期主将 連絡員
42	A	永島 透	目黒	#51CGS	

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
42	A	清水 大	退職	(不明)	42期副将
42	N	尾崎 公彦		とね航海長	
42	N	王本 邦彦	舞鶴	第7護衛隊 せとぎり	
43	A	徳永 亘	立川	中央地理隊	
43	A	奥藤 公彦	松山	第2混成団特科大隊	
43	A	梅原 航	明野	教育支援飛行隊	
43	A	廣瀬 繁	市ヶ谷A	警務隊本部	43期主将 連絡員
43	A	藤本 祐介	姫路	第3特科連隊 第5大隊 中隊長	
43	A	松口 俊三	市ヶ谷A	情本	
43	A	古谷 尚久	国分	第12普通科連隊	
43	A	関 大吾	横浜	中央輸送業務隊	
43	F	春日 英男	那覇	第5高射群	
43	N	江畑 泰孝	佐世保	第2護衛隊群 くらま	
43	N	荒柴 拓也	江田島	第1術科学校付	43期副将
43	N	森脇 竜二	呉	第5潜水隊はるしお	
43	A	作田 雄一	御逝去		
44	A	澤田(遠藤)由紀子	東千歳	第7後方支援連隊 第2整備大隊 特科直接支援中隊	
44	A	増山 哲治	前川原	幹部候補生学校	
44	A	渡邊 俊明	川内	第8施設大隊	44期主将
44	A	八尋 幸一	退職	(不明)	
44	F	伊藤 恒和	入間	中警団	44期副将
44	F	若林 友和	岐阜	2 補	
44	N	西尾 実	舞鶴	第24護衛隊 みねゆき	
45	A	八木 新	旭川	第2高射特科大隊第3係室	45期主将
45	A	澤水 隆一	高田	第5施設群	45期副将
45	N	津森 聡	呉	第22護衛隊 やまゆき	
45	N	堤 充良	呉	練習艦隊 あきぐも	
46	A	阪井 旭	高知	第2混成団施設隊	46期副将
46	A	菊地 裕紀	那覇	第1混成群 本部管理中隊	46期主将
46	A	高木 聡	信太山	第37普通科連隊	
46	A	高橋 牧子	春日井	第10後方支援連隊衛生隊	
46	F	山本 剛嗣	三沢	北警団	
46	N	伊藤 和典	横須賀	第2潜水艦隊司令部	
47	A	松尾 崇嗣	久留米	第4特科連隊第5大隊 第13中隊	
47	A	関家 建一郎	善通寺	第15普通科連隊3中隊	
47	A	村重 亮	退職	(不明)	
47	A	久郷 一雄	退職	TBSテレビ	
47	A	田中 勝茂	座間	第4施設群363中隊	
47	A	樋口 智志	函館	第28普通科連隊 第2科	
47	A	本田 一郎	退職	(不明)	
47	A	矢野 健一	弘前	第39普通科連隊本部管理中隊	47期主将
47	A	半澤 武久	北熊本	第8化学防護隊	
47	N	谷口 裕昭	退職	鹿児島県警	47期副将
47	F	溝上 雅央	熊谷	第2教育群第1大隊第2中隊	
48	A	岩田伸太郎	帯広	第5旅団後方支援隊 輸送隊	
48	A	小林 猛	東千歳	第7師団第7施設大隊	
48	A	藤原 宏匡	函館	第28普通科連隊第3中隊	
48	A	对比地 貴行	松本	第13普通科連隊第1中隊	48期主将
48	N	飯沢 直人		不明	
48	N	廣神 敏		不明	48期副将
49	A	ター・ミンタイン	防大	防衛大学校 研究科学生	49期副将
49	A	中山 智晴	久居	第33普通科連隊	
49	A	西川 尚紀	仙台	東北方面通信群	
49	A	郡山 伸衛	釧路	第27普通科連隊	
49	N	砂川 広樹		不明	
49	N	房野 賢一	佐世保	第6護衛隊群「きりさめ」	49期主将
50	A	永田 忠義		不明	
50	A	砂原 正法	旭川	第二飛行隊	
50	A	松岡 晋	米子	第八普通科連隊	
50	A	山本 篤	目達原	第3対戦車ヘリコプター隊第2飛行隊	
50	N	牛嶋 敬幸	呉	練習艦隊司令部付	
50	N	鳥居 悠希	呉	練習艦隊司令部付	50期主将
50	F	稲垣 孝洋	稚内	第1収集隊	
50	F	藤井 貴志	熊谷	第4術科学校学生隊幹部中隊気象幹部課程	
50	F	樋口 哲士	春日	西防群防管隊	50期副将
51	A	加藤 僚	前川原	陸上幹部候補生学校	51期主将
51	A	木村 和史	前川原	陸上幹部候補生学校	
51	A	寺田 浩昌	前川原	陸上幹部候補生学校	
51	A	岡本 剛史	前川原	陸上幹部候補生学校	
51	A	窪田 雅之	前川原	陸上幹部候補生学校	
51	A	熊田 智徳	前川原	陸上幹部候補生学校	
51	A	鬼塚 勇	前川原	陸上幹部候補生学校	
51	A	稲葉 雄一	前川原	陸上幹部候補生学校	
51	A	坂東 正崇	前川原	陸上幹部候補生学校	
51	A	林 康平	前川原	陸上幹部候補生学校	
51	N	石川 貴之	江田島	海上幹部候補生学校	
51	N	阿部 哲也	江田島	海上幹部候補生学校	51期副将
51	N	島原 佑太	江田島	海上幹部候補生学校	
51	F	増田 陽輔	奈良	航空幹部候補生学校	
51	F	養田 智弘	奈良	航空幹部候補生学校	

編集後記

52期 庶務係 扇 直人
脇田 祐一朗

合掌

薫風の候、先輩の皆様にはいよいよご健勝のこととお喜び申し上げます。現在の少林寺拳法部は更なる向上を目指して日々精進している次第です。

昨年度の成績といたしましては、関東学生大会、全日本学生大会と、主要な大会においてわが部の誇る団体演武は全て最優秀賞を受賞し、また関東学生大会では男子段外の部において、全日本学生大会では男子三人掛の部、段外男女組演の部において最優秀賞を受賞し、他の部門におきましても数々の賞を受賞することができました。これもひとえに、諸先輩の方々の築かれた伝統によるところであると思っております。

私ども52期も日々自己研鑽に励み、幹部を中心として部員一丸となって修行に励んでいく所存でありますので、先輩の皆様におかれましても、ますますのご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今回部誌を作成するに当り、ご協力・ご指導をいただきました顧問、監督をはじめとする関係者の方々に厚くお礼を申し上げまして、編集後記とさせていただきます。

結手